

(様式1)

校種	小・ 中 どちらかに○	学校番号	16	学校名	宇都宮市立晃陽中学校
----	-----------------------	------	----	-----	------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重の精神」を基盤として、心身ともに健康で知・徳・体の調和のとれた、心豊かでたくましく、未来を拓く生徒を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

たしかな学力をもつ生徒

豊かな心をもつ生徒

強い体力・気力をもつ生徒

2 学校経営の理念

「生徒が安心して力を発揮できる学校」

生徒一人一人の自らの良さや持てる力に気付かせ、それらを伸ばしていく指導のもとに確かな学び、豊かな心、健やかな体を育む教育活動の充実を図る。また、それらを通して時代の変化に対応して未来を拓く力の育成を目指す。

3 学校経営の方針

- (1) 学業指導を充実し、生徒一人一人の自己実現に向けた主体的・協働的な学習の推進と、社会との関わりの中で自分の生き方を見つめ考えさせるキャリア教育の充実を図る。
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と思考力、判断力、表現力の育成に加え、学力調査等の活用と学習習慣の確立による、確かな学力を育む学習指導を推進する。GIGAスクール構想の実現を目指し、一人一台端末を授業はもとより日常的に活用できるよう取組を進める。
- (3) 生徒一人一人の人格を尊重し、自己有用感と思いやりの育成を積み重ね、困難を乗り越えるたくましさや夢や目標を持って社会に貢献しようとする豊かな心を育む教育を推進する。
- (4) 生涯にわたって健康で安全な潤いある生活が送れるよう、健康教育と安全教育の充実を図り、強い体力・気力を育む教育を推進する。新型コロナウイルス感染症等の予防について正しく理解し、適切な行動をとるなど、健康で安全な生活を送れるよう指導する。
- (5) 共生社会の実現を目指すため人権教育の充実とグローバルコミュニケーション能力の育成を図る。
- (6) インクルーシブ教育システムの推進に向けた特別支援教育の充実を図る。
- (7) 道徳科の授業の充実を努め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に組織的に取り組む。
- (8) 「部活動の方針」に基づいた、適切な部活動運営を図る。
- (9) 地域学校園小中一貫教育の推進と地域諸団体との連携、生徒の地域貢献活動の実践による、地域ととともにある学校づくりを推進する。

- (10) 校内業務の適正化を図るなどして学校における働き方改革を推進するとともに、教育公務員としての使命と職責を自覚し、相互に高め合い学び合う協働的な同僚性の構築と、教職員の指導力と専門性の向上を目指す。

[晃陽地域学校園教育ビジョン]

「地域に根ざし、子どもが生き生きと活動する地域学校園」

－児童生徒の学習習慣の定着と学力向上を目指して－

4 教育課程編成の方針

教育基本法及び学校教育法その他の法令、学習指導要領に従い、宇都宮市立学校の管理運営に関する規則第7条に基づいた、「宇都宮市立小中学校の教育課程及びその編成の基準」を踏まえ、生徒の人間としての調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達や特性等を十分考慮して、本校の教育目標を達成すべく適切な教育課程を編成するものとする。

さらに、中学校学習指導要領に示されている、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれ教育課程」の実現を目指す。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営 ○生徒が安心して力を発揮できる学校づくりのための指導と評価の充実
- (2) 学習指導 ○学力向上を目指す学習指導の改善と生徒の学習習慣の育成
- (3) 児童生徒指導 ・自己有用感を育てる生徒指導と個別支援の充実
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
・自他ともに健康で安全な生活を送ろうとする実践力の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

- (1) 育てたい資質・能力
 - ・小規模校の特性を生かし、多くの体験学習を通して自己有用感を育てる。
 - ・コミュニケーション力を高め、生徒相互の多様な力を認め合い、共感的な人間関係を育てる。
 - ・自己決定の場を設け、その実現に向けて粘り強く取り組むとともに、夢や目標を持って社会に貢献しようとする意欲と態度を育てる。
- (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）
 - ・生徒主体の運営、発表による感動体験を得る特別活動
 - ・総合的な学習の時間における地域の特徴を生かした福祉体験活動の充実
（富屋特別支援学校との交流、高齢者福祉施設との交流・体験学習）
 - ◇芸術鑑賞教室の開催（優れた文化・芸術に直接触れる機会の設定）
 - ◇出前授業等の積極的活用による体験型学習の充実
 - ・十分な活動スペースを確保しての部活動の充実
 - ◇食農体験・学校農園活動の実施

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

「子供は地域の宝」という地域の声のもと、地域全体で子供たちの成長を支えていく視点を大切にされた学校経営を推進するとともに、魅力ある学校づくり地域協議会の学校運営参画機能の充実を図る。

②主な取組

- ・学校行事公開による教育成果の公表
- ・学校HPやメール配信の活性化と各種たよりの発行や学校だよりの地域内回覧
- ・富屋・篠井地区の地域行事へ生徒のボランティア協力、作品展示
- ・福祉施設および特別支援学校との交流・ボランティア活動と吹奏楽部の訪問演奏
- ・魅力協による学校教育支援活動と学校運営参画機能の充実

〔 食農体験・学校農園への支援，緑化環境整備への支援，学校行事への支援
校内授業研究会での教室見守りへの支援，学校評価の実施，学校運営への協力 〕

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

義務教育9年間を通じた系統的な指導と地域の教育資源を活用した教育活動により、児童生徒の学力保障と学校生活適応を目指す。さらに、中学校教員の学校園小学校への協力体制を維持し、学校園の教育力を強化する。

②主な取組

- ・学校園内各小中学校の取組の紹介・情報発信
- ・地域学校園での共通の取組「あいさつ」「返事」「姿勢」の指導徹底
- ・学校園冒険活動交流プログラムの実施
- ・小中合同あいさつ運動の実施
- ・乗り入れ授業の工夫と改善
- ・6年生の進学先中学校訪問での生徒会による学校紹介と部活動紹介
- ・中1ギャップ解消と不登校対策に向けた小中学校間情報共有の一層の充実
- ・保健・安全・食育・図書館教育・学校事務等の情報共有と連携事業の実施

(3) 不登校対策

①基本的考え

居心地の良い学級づくりと授業改善に努め、学校全体として組織的に不登校の未然防止と早期発見・早期対応に取り組む。特に、配慮が必要な生徒への気づきとその背景を大切にし、組織的対応を図る。

②主な取組

- ・別室登校生徒への支援の充実
- ・オンライン授業等の活用
- ・時間割に位置付けた「いじめ不登校対策委員会」の開催による情報共有
- ・保護者支援の充実と関係機関との連携強化
- ・SCと連携した地域学校園小学校との情報共有
- ・居心地の良い学級づくりと分かる授業への授業改善
- ・教育相談・いじめに関するアンケート・Q-U・いじめゼロ集会の実施と活用

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

多様な生徒たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びを持続的に実現させる。今年度は、生徒・教職員が1人1台端末を授業の内外で日常的に活用できるようにする。

②主な取組

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指す授業実践
- ・主体的・対話的な深い学びを実現するための各種アプリの活用
- ・オンラインを活用した授業実践
- ・A I型ドリル教材の活用
- ・デジタル・シティズンシップの育成を図る指導の工夫

(5) 宇都宮学

①基本的考え

グローバル社会に主体的に向き合い、異なる文化をもつ人々とともにたくましく未来を生き抜く生徒を育むため、生徒が郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りを持てるようにする。

②主な取組

- ・宇都宮の歴史を理解するための身近な文化財などを調べる教育活動の充実
- ・日本遺産である大谷石文化や、スポーツや芸術、食などの宇都宮の魅力を認識・発信する教育活動の充実
- ・SDGsやNCC（ネットワーク型コンパクトシティ）の達成に向けた宇都宮市の取組などを理解する教育活動の充実
- ・教科横断的な視点で、各教科等の関連付けを図る指導・支援